



2024年8月26日

各 位

会 社 名 西川ゴム工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 秀樹
(コード番号 5161 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常務取締役管理統括本部長 休石 佳司
(TEL : 082-237-9371)

過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出 および過年度決算短信訂正に関するお知らせ

当社は本日、有価証券報告書等の訂正報告書を中国財務局へ提出するとともに、過年度決算短信の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回の訂正により株主、取引先をはじめとする関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

記

1. 訂正の経緯および理由

当社は、2024年5月29日に適時開示しました「当社連結子会社における棚卸資産の計算等に関する調査のお知らせ」および同年6月25日付「当社連結子会社における棚卸資産の計算等に関する調査の進捗及び2024年3月期有価証券報告書の提出期限延長申請の検討に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社の連結子会社（ニシカワ・シーリング・システムズ・メキシコ S.A. DE C.V.）（以下、「本件子会社」といいます。）において棚卸資産の計算等に関して疑義のある事象（以下、「本件」といいます。）が存することが判明したことを受け、社内調査を行ってまいりました。

社内調査の結果、同年8月16日付「当社連結子会社における棚卸資産の計算等に関する調査結果及び再発防止策の策定に関するお知らせ」にて記載のとおり、本件子会社およびその他の子会社1社において過年度より棚卸資産の残高が過大に計上されていたことが判明したため、調査結果を踏まえ、過年度の決算を訂正することといたしました。

また、本日付「特別損失（環境対策引当金繰入額および特別調査費用引当金繰入額）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年3月期末の連結決算および個別決算において、本件の調査費用等に関する特別調査費用引当金繰入額および当社工場の土壌の入替等に伴い発生が見込まれる額としての環境対策引当金繰入額を特別損失として計上することといたしました。

さらに、本件子会社とは別の連結子会社等における未修正額等を訂正することといたしました。

今般、会計監査人による監査またはレビューが終了しましたことから、2023年3月期の有価証券報告書および2023年3月期第1四半期から2024年3月期第3四半期までの四半期報告書の訂正報告書を本日、中国財務局に提出し、2023年3月期第1四半期から2024年3月期までの通期決算短信および四半期決算短信を訂正いたしましたので、その影響額をサマリー表にて開示いたします。

なお、2024年3月期決算については、本日付「2024年3月期（第75期）有価証券報告書の提出完了に関するお知らせ」でお知らせしておりますとおり、本日、2024年3月期の有価証券報告書を中国財務局に提出いたしました。また、同年5月10日に公表いたしました2024年3月期決算短信の訂正については本日付「(訂正・数値データ訂正)「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」で訂正内容の詳細をお知らせしております。

2. 訂正報告書提出の対象書類

(1) 有価証券報告書

第74期（自2022年4月1日至2023年3月31日）

(2) 四半期報告書

第74期第1四半期（自2022年4月1日至2022年6月30日）

第74期第2四半期（自2022年7月1日至2022年9月30日）

第74期第3四半期（自2022年10月1日至2022年12月31日）

第75期第1四半期（自2023年4月1日至2023年6月30日）

第75期第2四半期（自2023年7月1日至2023年9月30日）

第75期第3四半期（自2023年10月1日至2023年12月31日）

3. 訂正対象の決算短信等

(1) 決算短信

2023年3月期 決算短信（自2022年4月1日至2023年3月31日）

2024年3月期 決算短信（自2023年4月1日至2024年3月31日）

(2) 四半期決算短信

2023年3月期 第1四半期決算短信（自2022年4月1日至2022年6月30日）

2023年3月期 第2四半期決算短信（自2022年7月1日至2022年9月30日）

2023年3月期 第3四半期決算短信（自2022年10月1日至2022年12月31日）

2024年3月期 第1四半期決算短信（自2023年4月1日至2023年6月30日）

2024年3月期 第2四半期決算短信（自2023年7月1日至2023年9月30日）

2024年3月期 第3四半期決算短信（自2023年10月1日至2023年12月31日）

4. 過年度業績への影響

今回の訂正による過年度業績への影響につきましては、別紙に記載の通りです。

以 上

(別紙) 過年度決算訂正による過年度業績への影響

(単位：百万円)

期間	項目	連結			
		訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B - A)	増減率 (%)
第74期 (2023年3月期) 第1四半期	売上高	22,478	22,478	—	—
	営業利益	△379	△701	△322	—
	経常利益	450	59	△391	△86.9%
	親会社株主に帰属する当期純利益	253	△269	△522	—
	総資産	120,416	119,992	△423	△0.4%
	純資産	73,118	72,563	△555	△0.8%
第74期 (2023年3月期) 第2四半期	売上高	46,137	46,137	—	—
	営業利益	△1,001	△1,533	△531	—
	経常利益	92	△512	△604	—
	親会社株主に帰属する当期純利益	△27	△630	△603	—
	総資産	122,591	121,954	△636	△0.5%
	純資産	74,325	73,688	△636	△0.9%
第74期 (2023年3月期) 第3四半期	売上高	73,704	73,704	—	—
	営業利益	△1,162	△1,885	△723	—
	経常利益	△197	△992	△795	—
	親会社株主に帰属する当期純利益	△169	△962	△792	—
	総資産	125,883	125,057	△825	△0.7%
	純資産	74,024	73,198	△825	△1.1%
第74期 (2023年3月期)	売上高	98,167	98,167	—	—
	営業利益	768	△105	△874	—
	経常利益	2,280	1,332	△947	△41.6%
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,109	1,170	△938	△44.5%
	総資産	126,133	125,156	△977	△0.8%
	純資産	75,538	74,560	△977	△1.3%

(単位：百万円)

期間	項目	連結			
		訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B - A)	増減率 (%)
第75期 (2024年3月期) 第1四半期	売上高	27,309	27,309	—	—
	営業利益	731	877	146	20.0%
	経常利益	1,741	1,887	146	8.4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,333	1,480	147	11.0%
	総資産	131,818	130,915	△902	△0.7%
	純資産	79,176	78,273	△902	△1.1%
第75期 (2024年3月期) 第2四半期	売上高	57,148	57,148	—	—
	営業利益	1,216	1,400	183	15.1%
	経常利益	2,822	3,099	277	9.8%
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,605	1,883	278	17.3%
	総資産	135,888	134,988	△899	△0.7%
	純資産	82,367	81,467	△899	△1.1%
第75期 (2024年3月期) 第3四半期	売上高	89,953	89,953	—	—
	営業利益	4,371	4,267	△103	△2.4%
	経常利益	5,883	5,873	△9	△0.2%
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,634	3,624	△9	△0.3%
	総資産	134,238	133,053	△1,185	△0.9%
	純資産	83,242	82,057	△1,185	△1.4%
第75期 (2024年3月期)	売上高	117,904	117,904	—	—
	営業利益	6,853	6,555	△297	△4.3%
	経常利益	9,145	8,920	△224	△2.5%
	親会社株主に帰属する当期純利益	5,839	5,038	△800	△13.7%
	総資産	139,097	137,732	△1,364	△1.0%
	純資産	89,452	87,510	△1,941	△2.2%